

＜対策のポイント＞

花粉症対策苗木等への植替えの支援、花粉飛散防止剤の早期実用化に向けた実証試験、スギ雄花の着花状況等の調査、スギ雄花の着花特性の短期間・高精度検査手法の開発等を進めるとともに、これらの対策の強化、普及啓発等を一体的に実施し、総合的に花粉発生源対策を進めます。

＜事業目標＞

スギ苗木の年間生産量に占める花粉症対策に資する苗木の割合の増加（約5割〔令和元年度〕→約7割〔令和14年度まで〕）

＜事業の内容＞	＜事業イメージ＞
1. 総合的な花粉発生源対策の強化及び普及9（9）百万円 花粉発生源対策に係る調査及び技術開発の成果の普及等を支援します。 2. 花粉の少ない森林への転換促進94（60）百万円 ① 花粉症対策苗木等への植替促進 花粉を飛散させるスギ・ヒノキ林の花粉症対策苗木や広葉樹等への植替えを促すため、素材生産業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援します。 ② 花粉症対策品種の円滑な生産支援 少花粉ヒノキのミニチュア採種園の管理に係る技術的指導を支援します。 3. 花粉飛散防止剤早期実用化促進60（25）百万円 花粉飛散防止剤の早期実用化を図るため、より効果的・低コストなスギ花粉飛散防止剤の空中散布技術の確立、ヒノキ花粉にも有効な花粉飛散防止剤の開発等を支援します。 4. スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進13（13）百万円 スギ雄花の着花状況等の調査、ヒノキ雄花の観測精度向上のための調査手法の開発を支援します。	花粉の少ない森林への転換促進 ・素材生産業者等が行う森林所有者への花粉症対策苗木や広葉樹等への植替えの働きかけ  ・少花粉ヒノキミニチュア採種園の管理技術の指導 花粉飛散防止剤早期実用化促進 ・より効果的・低コストなスギ花粉飛散防止剤の空中散布技術の確立、空中散布に関する運用ガイドラインの作成 ・スギだけでなく、ヒノキ花粉にも有効な花粉飛散防止剤の開発  ＜菌類を活用した花粉飛散防止剤により枯死した雄花＞ スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進 ・スギ雄花の着花状況等の調査 ・ヒノキ雄花の観測技術の開発、試行的な着花状況調査の実施 ・ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発  ＜スギ雄花の着花量調査＞

取組成果等情報の集約、一体的に普及啓発

＜事業の流れ＞

国

→

民間団体等

定額

総合的な花粉発生源対策の強化及び普及

・上記の取組状況や調査成果、特色ある地域の植替促進取組等の情報収集及び発信